

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名： 放課後クラブぴのきお みしま

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3	2	0	・施設設備など、改善すべき点があるので検討。 ・児童が落ち着ける静かな場所の確保が出来ていない。	23	1	0	3	・実際に活動している様子を見る機会がなく分からないが、子どもはとても楽しく活動に参加させてもらえていると思う。	・各部屋を有効に使用し、スペースの確保を行っている。今後も対応を検討していく。
	2 職員の適切な配置	4	1	0	・個別支援の必要な児童が多いと、職員の人数が少なく感じる事があるが、対応している。	18	1	0	8	・配置数も毎回確認するわけではないので詳しい事は分からないが、子どもが楽しく過ごせるようにして下さっていると思う。	・利用児童に合わせて、職員を配置するよう対応している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	4	1	0	・子どもの特性に合わせた部屋の使い方や支援、援助等を工夫している。	22	1	0	4	・全体のスケジュールと活動の内容のスケジュールは必要だと思う。料理の時は、細かくわかりやすくされていた。	・全体のスケジュール等は、継続していく。個別に必要な児童に対しては、検討し対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	1	0	・整理整頓を常に考え、清潔な生活空間を提供していく。	24	0	0	3		・玩具の消毒や心地良さ等の対応を常に心掛けている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	4	1	0	・全職員に対して理解周知し、参画していく。	/	/	/	/		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	0	5	・保護者、相談員、各機関等から意見を伺い、参考にしたりしている。	/	/	/	/		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	5	0	0		/	/	/	/		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	4	1	0	・支援MTG等で話し合い、作成している。また、職員間で計画が実施されているのかの話し合いの場を持つていく。	26	0	0	1		・定期的にあセスメントを行っている。ニーズや課題等を計画に盛り込んでいる。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	4	1	0	・ガイドラインに基づき、個別支援計画の作成を行っている。	24	1	0	2		・保護者や児童の思いを具体的に盛り込む計画の立案や設定を心掛けている。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4	1	0	・児童の特性に合った計画の作成を行っている。	/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	4	1	0	・計画に沿った支援が行われているが、今後も常に個別支援計画に沿った支援を行っていく。	24	1	0	2	・常に個々の計画に沿った支援に努めていく。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	4	1	0	・ほぼ出来ている。また、出来ていない所を改善していく。	/	/	/	/		
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	4	1	0	・児童が興味/関心を持って楽しく取り組めるよう、新しい事も取り入れる等して工夫している。	21	2	0	4	・様々なプログラムがあり、子どもも喜んでいます。	・色々な活動に挑戦出来るプログラムを提供していく。また、児童が興味/関心を持って楽しく取り組めるように努めていく。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	4	1	0	・平日、休日、長期休暇に応じてイベント等を計画し、その中に課題を組み込む工夫がされているので、保護者への発信の仕方を考えていく必要がある。	/	/	/	/		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	5	0	0		/	/	/	/		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	5	0	0		/	/	/	/		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	5	0	0		/	/	/	/		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	4	1	0	・モニタリングの内容等を全職員で周知して、支援に取り組んでいく。	/	/	/	/		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	3	1	1	・児童発達支援管理責任者が参加している。子どもの状況をよく理解した上で、参加している。	/	/	/	/		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	0	0	5	・重症心身障害児に関しては、保護者との連絡や情報共有を主にやっていく。	/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	0	0	5	・保護者や各関係機関等と情報共有を図っていく。						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	2	1	2	・直接保育所からの情報は無い。 ・担当会議等に参加し、情報共有している。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	2	1	2	・移行支援の事例はない。 ・担当会議やその他会議等の参加にて、情報共有する事を心掛けている。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2	2	1	・研修等があれば、積極的に受講するようにしている。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	0	5	・今後のイベント等を通して、そのような機会を持てたらと考えている。	6	5	1	15		・現時点での交流は難しい。今後も継続して検討を行っていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	0	5	・今後、地域住民との関係作りも視野に入れていく。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	1	0	・定期的に行っている。	27	0	0	0		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4	1	0	・定期的に保護者に対して、説明を行っている。また、丁寧な説明を心掛けている。	26	0	1	0		・保護者に対して、定期的に説明を行っている。また、丁寧な説明を心掛けている。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	0	0	5	・検討中である。	12	1	1	13	・「褒めて伸ばす」頭では分かっていますが、ペアレントトレーニングを行う事までは至っていない。検討中である。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4	1	0	・ほぼ出来ていると思うが、今後も保護者との共通理解を図っていききたい。	23	2	1	1	・常に情報共有を行う事が出来るように努めていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	4	1	0	・相談に対して、適切な助言や支援を行っていく必要がある。	15	8	0	4	・送迎時に、時折職員からアドバイスを頂いている。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	2	2	1	・年1回程度、保護者会を開催している。また、時期を見て、開催予定である。 ・保護者同士の情報交換の場を提供していく必要があると考えている	2	4	9	12	・現時点での保護者会開催は難しい。今後も継続して、参加型の保護者会を検討している。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	2	2	1	・環境保全等、すぐに対応が出来ていないので、迅速に取り掛かるように努める。(網戸の修理等)	15	2	0	10	・いつも丁寧にして頂いて、信頼しています。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	5	0	0		22	2	0	3	・ノートや電話連絡、送迎時でのコミュニケーションを図り、今後も情報共有が出来るように努めていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5	0	0		23	0	0	4	・毎月ホームページの更新や通信(活動予定表/活動報告)を配布し、情報を発信している。今後も継続していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	5	0	0		25	0	0	2	・個人情報書類の取り扱いに関しては、十分に気を付けている。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	1	2	2	・マニュアルが最新ではない。 ・職員全員への周知方法を検討していく。 ・勉強会等を実施し、意識向上を図っていく必要がある。	22	0	0	5	・保護者への周知を行う事が出来ていない。検討していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1	3	1	・定期的かつ十分には行っていないので、皆で検討していく必要がある。 ・勉強会等を実施し、意識向上を図っていく必要がある。	14	0	0	13	・年2回以上の訓練の実施は行っている。また、引き渡し訓練等は実施に至っていない為、今後の課題として検討を行っている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点		はい	どちらとも いえない		いいえ	わからない
非常時等の 対応（ 続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応			2	3	0	・勉強会等を実施し、意識向上を図っていく必要がある。			
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載			4	1	0	・具体的な記載はしていない。そのような時には、しっかりと対応していく。			
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応			4	1	0	・保護者の指示にて適切に行っている。 ・医師の指示ではないが、保護者からの申告により、可能性のあるものは避けるように対応している。			
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底			4	1	0	・ヒヤリハット事例をたくさん出していき、定期的に話し合いを設けていく。予測対応を検討し、ヒヤリハットに対する意識向上を図っていく。			